

防災士の役割(事例)

(1)平常時の活動：自分の身のまわり、家庭の防災・減災対策の実施。地域や企業における防災意識の啓発活動、訓練・研修などの実施や参加

- 家庭、地域社会や職場での話し合いや訓練、備蓄など防災対策を実施する
- 自分の住んでいる地域の災害発生の可能性を調査し、対応を考える
- 家具の固定や建物の耐震診断・補強などを実施、周囲への普及に努める
- 避難路、避難場所の確認、安否確認方法を確認する
- 自治会への働きかけや自主防災組織の結成・参加
- 住民へのAED・応急手当、初期消火訓練の実施
- 地域や自治体と協力して災害時要配慮者の支援活動を行う

【出典：2026年度版防災士教本】

- 消防団に加入する
- マンションなど、集合住宅での防災対策を講じる
- 住民を対象とした災害図上訓練、避難所開設運営訓練を企画・実施する
- 住民へのA E D・応急手当、初期消火訓練の実施
- 地区防災計画作成を推進する
- マイ・タイムラインの普及に努める
- ラジオ、テレビ、新聞など、メディアへの出演や取材に協力する

【出典：2026年度版防災士教本】